

令和 7 年度 かなやの里更生園 第 1 回地域連携推進会議 議事録

開催日時	令和 7 年 10 月 15 日（水） 10:00～11:00
開催場所	かなやの里更生園 会議室
出席者	入所利用者 2 名 利用者のご家族 1 名 地域の関係者 1 名 福祉に知見を有する方 1 名 上越市福祉課職員 1 名 ※地域連携推進員全員出席 管理者（園長） 1 名 サービス管理責任者（課長、課長補佐） 2 名 事務局職員（次長） 1 名
内 容	1. 園長挨拶 地域連携推進会議は、令和 4 年の社会保障審議会にて、入所施設やグループホームを住まいとされている方へ、事業運営の透明性を確保することを目的に、令和 7 年度に義務化された。集合しての会議、事業所の訪問をそれぞれ最低でも 1 年に 1 回は行うこととされている。本日は、100 名の利用者の方を対象とする入所施設の会議となる。 ○目的について。 ・利用者地域との関係づくり 会議や訪問を通じて、利用者が地域の中でより良く生活する為の関係づくりを行う。 ・地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進 会議や訪問を通して、地域に開かれた施設、利用者の理解、職員との繋がりを深める。 ・サービスの透明性・質の確保 職員数や設備等について怠ることはないが、通所事業所よりも外部の目が入りにくい。定期的に訪問していただくことで、透明性の確保、質を確保する機会を作る。 ・利用者の権利擁護 自分の意思を伝えられないと、思いがサービスに反映されているかが分からない。会議の中では率直な言葉で伝えていただくことで権利擁護に繋がる。 ○構成員の役割 出席して自分の思いを率直に言うことで、実りのある会議にする。施設の中は見たことがあるようで見ていないところもあり、住環境を実際に目で見ていただいて、感想や意見を言って欲しい。

	2. 推進委員の紹介 次長が紹介し、各人よりご挨拶していただく。 3. 更生園の事業説明 運営計画・現況表について、次長より説明を行う。 事業報告について、課長より説明を行う。 4. DVD 視聴 4 月の寮のお花見行事や体育班の園外活動の様子の動画を視聴する。 【委員からの質問や感想】 ・（行事の間食時の様子を見て）テーブル上のパーテーションはまだ使用しているのか。 →場所によって使用している。（課長） ・グループごとに分けて食べているのか。 →行事の際は、グループに分けて食べていただいている。（課長） ・席は決まっているのか。 →決まっている方もいれば、そうでない方もいる。場所はその方の特性に合わせて配慮している。（課長補佐） ・（園外活動の様子を見て）元気が良く気持ちが良い。言葉として出てはこないかもしれないが、気持ちよさそうに見える。 5. 意見交換会 【委員からの質問】 ・（福祉に知見を有する方） すこやかなくらし相談室より、入所待機は 5 年ほど待つという話を聞いたが、男性の待機者が女性よりも多いのはなぜか。 →入所を希望される方は、男性の方が比率が高い。当園だけではなく他も同様。入所する必要性や緊急性から順位が決まるが、中には長期間の待機となる場合もある。 障害を持つ方の男女の比率は同程度だが、女性の方が在宅で過ごせる場合が多いのではないか。待機者の男女の比率については、全国的に見ても同様のことがいえる。現在 50 名ずつの定員ではあるが、運営面等考えると、今後比率が変わることも考えられる。（園長） ・（地域の関係者） 質の高いサービスや必要最低限の職員数の確保は難しい。良い研修をしても退職者もある。新しく入る職員や、現在いる職員に配慮していることは
--	--

あるか。

→職員確保は難しく、ハローワークや公的機関の求人でも増やすことは難しい。そこで職員の紹介制度を令和6年から始めている。職員からの紹介である為、福祉に関わってきた方も多く、離職も少ない。現在働いている職員に長く勤めてもらう為に、法人全体で考えていく。

質の高いサービスは具現化が難しい。今まで通りでは質の担保は難しい。効率よくサービスを提供できるか。現在は他施設見学を通して、日課の組み立てを考えている。新しい領域に一步踏み出してきている。(園長)

→職員の確保は、福祉業界だけでなくどの業界も課題となっている。上越福祉会では、法人を知ってもらおう実行委員会やリクルートプロジェクト等、若い職員の発想でSNSで発信したり、学校に出向いて園や仕事の良さをアピールしている。(次長)

・(上越市福祉課職員)

事業報告書の行事・地域交流では、施設内の行事を中心に載せられているが、地域との交流はあるか。

→以前はかなやまつりがあったが、今年度は更生園まつりを実施予定。これまで感染症で自粛の傾向にあったが、今年度は保護者も呼んで実施する。保護者からも以前のように施設の中に入れなくなったとの声が聞かれていた。外部と利用者の交流する機会を設けていく。

また、ふくしの広場へのスタッフの派遣が難しくなってしまったが、参加者として会場に行かせていただいている。その他、令和6年度には新井高校吹奏楽部を招いて演奏会を行ったり、社会奉仕活動として、大湊水の森公園の除草やゴミ拾いを行った。今年度も奉仕活動を予定していたが、雨で中止となった。(園長)

【委員からの意見・要望・感想】

・(利用者) どこかに行きたい。旅行に行きたい。

・(利用者) おひさまデパートをまたやってほしい。

※年2回、長野県の業者から来園してもらい、出張デパートを開催している。

・(福祉に知見を有する方)

運営計画について、これまで年間計画しか見ていなかったが、説明していただき、よく理解し、貴重な冊子だと感じた。

※入所利用者の後見人をされている方

・(地域の関係者)

地元の施設だが、少しずつ疎遠になってきていると感じていた。改めて話をし、町内としても触れ合う機会を作っていきたい。また、害獣対策を始める

	予定としている。施設の許可や協力が必要になることもあるので、その際は協力をお願いしたい。 ・（利用者のご家族） 運営計画を見て、職員は様々な業務や役割がある中で支援もしており、大変だと感じた。今回話を聞くことができ感謝している。これをきっかけに、地域との関係が広がっていくと良い。 ・（上越市福祉課職員） 資料を見ると、現在の状況や行っている取り組みや活動が分かりやすかった。地域との触れ合いや交流が広がっていくと良い。 ・（園長） コロナ禍で地域との交流がなくなっていった。コロナはまだあるが、周りの地域の皆さんと同じ時間を共有する機会を意図的に作っていく、その一つの場として今回の会議がある。今後もよろしくお願いします。
その他	・ 施設訪問の日程について 令和7年11月19日（水）10:00～11:00とする。 参加者 地域の関係者、利用者のご家族、上越市福祉課職員の3名 福祉に知見を有する方については、後見人として来園した際に施設見学を行っていただく。 ・ 法人の地域連携推進会議設置要綱に基づいて、今回の報酬を指定の口座に振り込ませていただくことをお伝えする。